

記載例

(優先順位)  
/

4ページの「3 交付対象事業」から、主となる区分及び関連する区分を必ず記載してください。

申請者名                      花のあふれる〇〇地域会

事業名	〇〇地域の花の潤い実践事業								
事業区分	主となる区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業							
	関連する区分	(6) ア 特色ある観光地づくり							
総合5か年計画区分(※)	主となる区分	(※)	この欄は地域振興局で記載します。						
	関連する区分	(※)							
事業タイプ	ソフト / ハード / <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">ソフト・ハード</span> (該当項目に○印を記入)								
重点テーマ	← <b>重点テーマに該当する場合は9ページから該当するテーマを記載してください。</b>								
実施箇所	〇〇郡〇〇村 〇〇地区及び□□地区								
実施期間	事業開始予定年月日	令和4年	6月20日						
	事業終了予定年月日	令和5年	3月10日						
← <b>複数年度の事業であっても、令和5年3月までとしてください。</b>									
事業目的・事業内容等について、具体的(箇条書き可)・明確に記載をお願いします。	<p><b>①事業目的</b> (事業を行う背景・課題・必要性を記載すること。また、この事業が重点テーマに該当する旨を明確に記載すること。)</p> <p>&lt;背景・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇村の〇〇地区と□□地区は、景勝地の〇〇があり観光客も多いが、周辺は雑草等が繁茂して景観が悪い。</li> </ul> <p>&lt;取組の必要性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景勝地としての魅力を高めるとともに、地域住民の心のやすらぎ・潤いを向上させるため、景勝地周辺の環境整備が必要。</li> </ul> <p>このため、地域住民が協働で、花いっぱいのみちづくりに取り組み、花の潤いある地域づくりを進める。</p> <p>また、複数地区の協働により実践することにより、地区を越えた絆を築き、地域への愛着や誇りを高める。</p>								
	事業概要	<p><b>②事業内容（モデル的で発展性のある事業である理由についても記載）</b> (実施の時期、場所、規模、方法等について具体的に記載すること。また、重点テーマに該当する場合は、その内容も具体的に記載すること。)</p> <p>1 花いっぱい実践活動</p> <p>&lt;時期・場所&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">植栽・手入れ</td> <td>△△：5月上旬、〇〇：7月上旬、□□：9月中旬、××：11月上旬</td> </tr> <tr> <td>四阿整備</td> <td>6月下旬～7月中旬</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>〇〇村〇〇地区・××地区 約〇m (別添位置図のとおり)</td> </tr> </table> <p>&lt;規模&gt;</p> <p>参加予定者 延べ〇〇〇人(うち、小・中学生〇〇人を含む)</p> <p>&lt;方法等&gt;</p> <p>景勝地の魅力を高めるため、〇〇地区及び□□地区住民により村道〇号線沿いに四季折々の花の植栽を行い、あわせてミニパークに四阿を整備する。</p>			植栽・手入れ	△△：5月上旬、〇〇：7月上旬、□□：9月中旬、××：11月上旬	四阿整備	6月下旬～7月中旬	実施場所
植栽・手入れ	△△：5月上旬、〇〇：7月上旬、□□：9月中旬、××：11月上旬								
四阿整備	6月下旬～7月中旬								
実施場所	〇〇村〇〇地区・××地区 約〇m (別添位置図のとおり)								
事業内容を項目ごとに記載してください。(事業費内訳の区分と合致するように記載願います。)									

## 2 「花いっぱいのもちづくりシンポジウム」の開催

<時期>

〇月〇日(〇)

【重点テーマ該当の有無】

- ・観光振興に資する取組であることから、地域重点テーマの「〇〇〇」に該当

【モデル的で発展性のある事業である理由】

- ・地域住民自らが実践し、まちづくりに参画する喜びを実感することにより地域に愛着を持つとともに、シンポジウムの開催を通して「花によるまちづくり」の先進事例等に触れることで、住民意識の更なる向上が期待される点。
- ・次代を担う若年層へのアプローチを強く意識し、日頃から地域活動に理解のある〇〇小学校及び△△中学校と連携を図っている点。
- ・取組の継続に必要な花の植栽費用等については、取組メリットを享受する、構成員の地域住民と〇〇観光協会の負担により賄う仕組みを構築。

③事業効果（可能な限り数値化すること）

（① の事業目的に対応した課題がどのように解消されるか記載すること。）

- ・花によるまちづくり実践者の増加：目標年度 R5 までに〇人の増（計〇〇人）
- ・〇〇地区の観光客入り込み数の増加：目標年度 R5 対 R2 比 10%(〇人)増

複数年度にわたる計画の場合、各年度それぞれの実施内容・効果がわかるように記載していただくか、もしくは全体計画を示す資料を添付してください。

④広報表示（長野県 地域発 元気づくり支援金事業である旨の表示）

（表示場所、内容等について具体的に表示方法を記載すること。）

- ・沿道の植栽に「この植栽は長野県地域発元気づくり支援金を活用しました」と記載した立て札を設置。
- ・シンポジウムのプログラムの表紙に「長野県地域発元気づくり支援金活用事業」と記載。

⑤特記事項（合意形成、諸手続、住民の参画等、特に説明すべき事項を記載）

（関係者との合意形成や関係法令等の手続きの状況、新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策の方法、2050 ゼロカーボンに向けたプラスワンアクション、その他アピールポイント等を記載すること。）

- ・四阿の整備予定地は取得済みであり、農地法に基づく転用の許可及び建築確認申請の協議を〇〇町と行っている。
- ・本事業については3月に地元区との意見交換会を行うほか、公募による住民で構成するワークショップで植栽デザイン等を検討していく。
- ・県道〇号線沿いの美化清掃活動について、アダプトシステムの協定を30年度中に締結する予定。その後は、アダプトシステムを中心に活動を継続していく。

- ・新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策の方法  
マスクの常時着用、十分な人と人との間隔（1m以上）を設ける、ワークショップは事前予約制とする（入場時に連絡先の把握をする）、十条人件音の実施、消毒液の設置、接触確認アプリ（COCOA）の紹介を行う。室内は十分な喚起を行う。また飲食は行わない。

- ・2050 ゼロカーボンに向けたプラスワンアクション  
花いっぱいのもちづくりシンポジウム参加者に対して、マイボトルの持参、自転車利用を呼びかけ、実践された方に、〇〇の種を贈呈

新型コロナウイルス対策、2050 ゼロカーボンに向けたプラスワンアクションは、必ず記載願います。

41 ページの「2050 ゼロカーボンの実現に向けたプラスワンアクションについて」をご参照ください。

**記 載 例**

事業内容の項目ごとに記載してください。（事業内容の項目と事業費内訳の区分と合致するように記載願います。）

◆実施内容別事業費内訳

区分	内容	積算（説明）	事業費 a	対象経費 b	補助率	支援金基本額 c (b × 補助率)
ソフト事業	花いっぱい実践活動	苗代	@〇円×〇個×〇回 =〇円	300,108 円	300,108 円	/
		肥料代	@〇円×〇個=〇円			
	シンポジウム	講師謝金	100 千円×3人	300,000 円	300,000 円	
		交流会会食代	2,000 円×100人	200,000 円	0 円	
	小 計			800,108 円	600,108 円	
ハード事業	花いっぱい実践活動	四阿	原材料費一式 (別添設計書参照)	300,000 円	300,000 円	/
	小 計			300,000 円	300,000 円	2/3
合 計			(A) 1,100,108 円	(B) 900,108 円		(C) 650,000 円

※市町村等の事業は、対象経費 (b) は特定財源を控除した後の額を記載する。（特定財源を控除する内容が未定の場合は暫定的に振り分けること。）

※支援金基本額小計欄は千円未満切り捨てとする。

◆特定財源内訳

特定財源	説 明	金 額
地方債		円
分担金・負担金・寄付金	交流会参加者負担金	200,000 円
事業収入		円
助成金	〇〇財団より	100,000 円
補助金	補助金名：〇〇市〇〇補助金	200,000 円
合 計		(D) 500,000 円

◆支援金要望（申請）額

市町村等	総事業費 A	対象経費 B	支援金基本額 C	支援金要望（申請）額
	円	円	, 000 円	, 000 円
公共的団体等	総事業費 A	対象経費 B	支援金基本額 C	
	1,100,108 円	900,108 円	650,000 円	
		特定財源 D	自己財源 E (A-D)	支援金要望（申請）額 (CとEのいずれか少ない額)
	500,000 円	600,108 円	600,000 円	

※公共的団体等の支援金要望額は、支援金基本額(C)と自己財源(E)を比較していずれか少ない額とし、千円未満切り捨てとする。

(添付書類)

- 1 事業計画図書（位置図、見取図、設計図、設計書等）
- 2 見積書（1件2万円以上の支出）
- 3 公共的団体等の規約（会則）
- 4 団体の歳入歳出収支予算書（直近のもの）
- 5 その他地域振興局長が必要と認める書類

※事業内容、事業費内訳等については別紙（様式任意）添付での対応も可

1件あたりの単価が2万円を超える場合は、参考見積書を添付してください。  
また、事業費の積算に係る根拠資料等についても添付をお願いします。

(参考) 2050 ゼロカーボンに向けた実現に向けたプラスワンアクションについて

## 2050ゼロカーボンの実現に向けた **2050 ZERO CARBON NAGANO** プラスワンアクション

地球温暖化に起因すると考えられる災害や猛暑日が増加し、気候変動はわたしたちの身近な課題となっています。

主な原因とされるCO<sub>2</sub>の排出削減のため、環境にやさしい「**プラスワンアクション**」をお願いします。

近場の移動は、徒歩や自転車で



買い物をするときは、エコバックを持参



イベントに参加するときは、飲み物はマイボトルで



イベントに合わせて、花や木を植える



その他にも…

- ・エアコンの設定温度を見直す
- ・公共交通機関を利用
- ・省エネ製品を選ぶ
- ・使い捨てプラスチックの使用を控える
- ・必要な分だけ買う
- ・地元の製品を選ぶ
- ・食べ残しゼロ

など